

イネミズゾウムシ (rice water weevil)

Lissorhoptrus oryzophilus



イネミズゾウムシ成虫



成虫による葉の食害痕

発生生態

越冬成虫は4月下旬から活動を始め、6月上旬にかけて田植え後の水田に侵入して、葉を食害します。食害痕は白色の線状になります。

幼虫は土中で根を食害します。

7～8月に羽化した新成虫は、秋には畦畔や山林等へ移動し、そこで越冬します。

防除対策

育苗箱施用剤で田植え後の成虫と幼虫を防除することができます。

育苗箱施用剤を使用しなかった場合で、成虫を株当たり0.3匹以上確認した場合は、防除を行います。